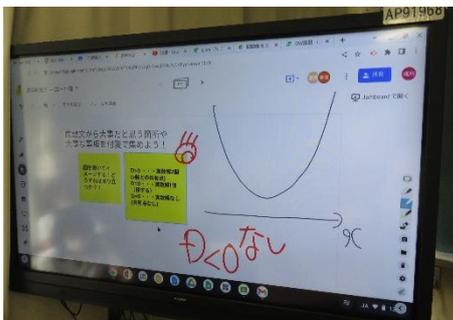




姫路高校の「数学」の授業でも、タブレットを活用した授業が増えています。フォームで小テストや演習をおこない、グラフ作成ソフトを使って視覚的に理解できるような授業が展開されています。またスライドやJamboardを活用し、複数人で考え方を集約した授業展開も行っています。従来の先生からの説明を”聞く”だけでなく、自ら授業に参加でき意欲的に取り組んでいます。さらに、Libry(リブリー)<sup>※</sup>を活用することで参考書の問題がタブレットに全問搭載され、週末課題などで解いた問題を集約することができます。高校数学は難しく感じるものですが、自ら課題解決する力を高め、考え方を話し合い共に学び、高めあおう姫高生。 ※ ブラウザで参考書の問題を確認でき、解いた問題の管理などが出来るデジタル教材プラットフォーム



(フォームを活用した「数学Ⅰ」の授業の様子)



(動画配信やJamboardを活用した入試演習の授業の様子)

授業担当者:吉田 成利先生【数学科】

## 先生より

タブレットを活用することで、生徒一人一人が授業への参加意欲が高くなったように感じます。自分の解法や考え方をアウトプットし、話し合いの中で理解を深めていけるような授業を意識しています。フォームで小テストを行い、単純な演習を重ねることで基礎の定着も図っています。生徒たちが、意欲的に数学の授業に取り組んでいるので、より向上心を持って頑張ってもらいたいです！